

六代目 (1993年～)

六代目は、「タクト」「タクト・スタンドアップ」「タクト・S」の3タイプ設定としました。フラッシュサーフェスを基調に、シャープでエッジの効いた洗練されたデザインとし、さらに鮮やかなツーコート(2層)塗装を採用することによって、より質感の高いものとなりました。また、従来同様の大容量のヘルメットスペースに加え、5Lの燃料タンク容量を確保しました。さらにゆったりとしたフロア・スペースを確保するとともに、シート高を720mmに抑えながら新形状のシートを採用することで足つき性を良好なものとなりました。

「タクト・S」の前輪には制動フィーリングに優れた油圧式ディスク・ブレーキに TLAD (アンチダイブ機構付きトレーリング・リンク式サスペンション) を装備し快適で軽快な走りを実現。さらにタクト・スタンドアップには、従来同様、駐車時のスタンド掛けを、メインスイッチのキーで容易に行える電動式オートスタンド(スタンドアップ機構)を搭載しました。



■1993年 タクト・S

七代目 (1998年～)

七代目は、「タクト」「タクト・スタンドアップ」をラインアップし、フロントからリアまで流れるような曲面で構成したデザインに一新。高級感と優しさにあふれたフォルムを実現しました。さらに、座り心地の良いロングシートや広々としたフラット形状のフロアの採用で、ゆったりとしたライディングポジションを実現しています。

また、新開発の空冷・2ストローク・単気筒エンジンは、キャブレターに改良を施し、混合気を薄めに設定する事で燃焼過程での有害物質の低減を図るとともに、マフラー内部に酸化触媒(キャタライザー)を設ける事で、排出ガス中のCO、HC、NOxをそれぞれ50%以上の低減を実現し、1998年10月より施行された二輪車排出ガス規制(原付1種・50cc以下)に適合させるなど環境に優しい性能を実現しました。また、マフラーの内部構造を変更する事で、同年10月より新たに施行される二輪車騒音規制にも適合するものとしています。



■1998年 タクト

さらに、使い勝手に優れたコンビ・ブレーキ(前・後輪連動ブレーキ)の新採用に加え、タクト・スタンドアップには、さらに操作性を向上させたスタンドアップ機構を搭載しました。